

## 【理事長挨拶】

卒業生の皆さん。おはようございます。

理事長の井上でございます

まず始めに、本来ならばご来賓そして保護者の皆様方のご臨席のもと卒業式を挙行するところでありましたが、この度の状況を踏まえ、このような卒業式となりましたことを卒業生の皆さんにはご理解をいただきたいと存じます。

改めまして、光明学園相模原高等学校、令和元年度 第 65 回 卒業式にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

やわらかく、暖かな春の訪れを感じる今日の佳き日に、ここに令和元年度 第 65 回卒業式が挙行できます事は、私といたしましても、この上ない慶びとするところでございます。531 名の卒業生の皆さん、ご卒業、誠におめでとうでございます。心からお祝い申し上げます。

さて卒業生の皆さんは、3 年前、学び舎の桜も満開の時期に入学いたしました。そして、初めて見る阿弥陀さまのお絵像を前にして、不安と期待の中、自ら選択し光明学園の生徒としてスタートいたしました。あれから 3 年、ご家族の支えのもと、学業、部活動にと励まれてまいりました。その間に於いての先生方の愛情と指導、そして仲間との友情、理解と励ましなど、次々と湧き出す思い出は尽きないことでありましょう。そして、この 3 年間の尊い経験は大きな誇りでもありましょう。

その 3 年間の努力の成果そして結果として、学力優等賞、特別賞、皆勤賞等の各賞の表彰がなされました。改めまして、受賞された皆さんに対しまして、賛辞を呈し心からお祝い申し上げます。思えばこの 3 年間の蛍雪の功が実り、いよいよここにめでたく卒業されることは感慨深いことと思えます。

この 3 年間の顧みますと、楽しかったこと、苦しかったことなど、思い出は尽きないと思えますが、同じ机、同じ窓から丹沢連峰を眺めながら将来の夢を語りあった仲間、厚く、また堅く結ばれた友情こそ一生の宝であり、いついつまでも堅持してください。そして、忘れてならないことは、この間、皆さんを支えて頂いたご家族をはじめ、勉学、そして部活動にと指導していただいた先生をはじめ多くの方々に対する「感謝の心」であります。

さて本学は、山崎弁栄上人により、大正 8 年に創設されました。振り返りますと、創設以来、地域の皆様に支えられ、そして多くの先人により永きに亘る歴史を刻み、伝統を築いてまいりました。その歴史も、記念すべき新たな元号、令和元年を迎えた本年度を以て節目の 100 周年を迎えました。そうした中、皆さんが今日この学び舎を巣立ちますと、それ以来の学園の卒業生は総勢 22,703 名となります。卒業されました多くの先輩方は各分野に於いて活躍されております。

ここで皆さんに旅立ちの贈といたしまして、山崎弁栄上人のご法語の中から次の言葉を贈ります。

「今日一日の生命は、永遠を発見する尊きもの」

このご法語の意味は、「今日のこの一日は、自分の将来の夢、希望を叶えるべき大切な

一日である。無駄に過ごしてよい日は一日もない。」という意味であります。

これから皆さんは、新たな門出の時を迎え、社会人として第一歩を踏み出す方、なお進学をめざし、勉学に励まれる方など進む道は異なるとも、本学園の卒業生であることを誇りとして、また本校で培った良識と知性をもって、一步一步誠実に自己の生きる道を開拓し、大きな夢と希望に向かい、一日一日を大切にして活躍されることを期待いたします。

結びになりますが、卒業生の皆さんの大いなる飛躍とご健勝を祈念いたしましてお祝いの挨拶いたします。

ご卒業、誠におめでとうございます。

令和2年3月1日

光明学園

理事長 井上 正明